

丹後震災 100 年に向けた取組

資料 6 - 1

(丹後震災 100 年記念イベント)

— 令和 9 年 3 月 7 日 (令和 8 年度末) で丹後震災 100 年 —

1. デジタルアーカイブ事業

京都府が運営する「京都府ミュージアムフォーラム」※1 を中心に、文化庁補助金を活用した「京都ミュージアム連携による博物館収蔵資料デジタルアーカイブ推進共同事業」※2 (府内 11 施設参加) の中で、京丹後市 (丹後古代の里資料館・郷土資料館) は丹後震災関係資料のデジタル化と、実証実験として丹後震災遺構の 3D 撮影・計測を実施するもの。

(1) 丹後震災資料のデジタル撮影及び公開

京丹後市教育委員会所蔵の資料について、撮影・デジタル化・公開を実施予定。

(2) 丹後震災遺構の 3D 撮影・計測

実施日：令和 7 年 10 月 2 日 (木)、10 月 3 日 (金)

対 象：(復興建築) 丹後震災記念館 (京丹後市峰山町室)、峰山小学校旧本館 (峰山町不断)
旧口大野村役場 (大宮町口大野)

(断 層) 郷村断層 (網野町郷、生野内)

報告会：丹後震災遺構 3D 撮影プロジェクト報告会・意見交換会

令和 7 年 12 月 4 日 (木)

主に京丹後市役所内部の関係課向けに 3D のお披露目と活用に向けた意見交換を実施。

2. 巡回展示「第 55 回丹後震災記念展」

丹後震災 100 年に向けて、小中学生や市民全体が丹後震災について学び、今後の防災意識を高めていく機会を創出するため、丹後震災に関する写真パネルの展示を巡回にて開催するもの。

会 期：令和 7 年 11 月 25 日 (火) ~ 令和 9 年 3 月 7 日 (日)

会 場：市立小学校 16 校、市立中学校 6 校、市内各地域公民館等 6 館 (予定)

※一般市民への公開は地域公民館等 6 館での展示期間の予定。

※大宮中学校、大宮第一小学校で既に展示済。

※1 京都府ミュージアムフォーラム

平成 29 年創設のミュージアムネットワーク。京都府内の博物館・美術館等 69 館が参画。相互連携し、各館の有する課題の解決を図り、地域の活性化等に向けた取組を推進することを目的としている。

※2 「京都ミュージアム連携による博物館収蔵資料デジタルアーカイブ推進共同事業」

文化庁 Innovate MUSEUM 事業の採択を受け、KYOTO 地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会が 11 施設共同で取組む事業 (採択額 2 千万円)

3. 丹後震災の記憶を次世代につなぐプロジェクト「100年越しのシャッター」

地域の児童・生徒が丹後震災を学び、復興建築を訪れるとともに、当時の写真と同じ場所・同じ構図を探し出し撮影を行う定点観測を体験するもの。

日時：令和8年1月10日（土）13時00分～16時30分（12時50分集合）

対象：峰山学園の小学校5年生～中学校3年生

定員：15名程度（申込先着順、参加無料）

会場：峰山総合福祉センター

主催：KYOTO 地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会^{※3}

協力：福知山公立大学 地域経営学部 大門大朗 准教授 及び学生

地域防災研究センター及び学生団体「七福ふっこう隊」の学生
情報科学芸術大学院大学 産業文化研究センター 高森順子 研究員

※3 KYOTO 地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会

京都府ミュージアムフォーラムの地域連携プログラムを実施する京都府立丹後郷土資料館を中心とし、各地域のミュージアムで構成する実行委員会。事務局は京都府文化生活部文化政策室に置く。地域の文化資源を探究・発信することで次世代継承を図る「次世代と地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト（つなプロ）」をこれまで各地で実施（京丹後市では令和4年度に高龍小学校で実施）。